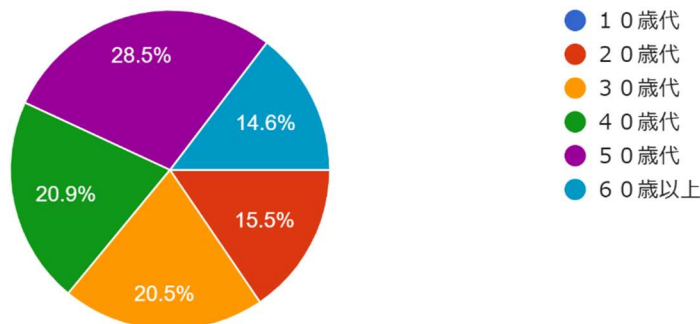


* 所属をお書きください

一般、鈴鹿市立旭が丘小学校、松阪市、伊賀市、久居東中学校、亀山市立井田川小学校、鈴鹿市立石薬師小学校、度会町立度会中学校、紀北町立船津小学校、内部中学校、鈴鹿市立大木中学校、鳥羽市立答志中学校、松阪市立嬉野中学校、津市立一身田中学校、三重県庁、伊勢市立佐八小学校、三重県教育委員会学力向上推進プロジェクトチーム、保々こども園、津市立西橋内中学校、伊勢市立厚生中学校、笹川中学校、明和町、青山同推協、四日市市立笹川小学校、四日市市教育委員会事務局教育総務課、紀宝町立矢湫中学校、伊勢市立二見中学校、伊賀市立緑ヶ丘中学校、桑名工業高校、津市立久居東中学校、立成小学校、北立誠小学校、南勢小学校、川越南小学校、津東高校、飯野高校、三重平中学校、鈴鹿市立庄野小学校、鈴鹿市立玉垣小学校、田丸小学校、消防本部、松阪市立射和小学校、鈴鹿市立白鳥中学校、伊賀市役所青山支所、南伊勢町、菰野小学校、伊賀市役所、伊勢市立厚生小学校、四日市市立四日市幼稚園、松阪市立第三小学校、桜浜中学校、津人教、四日市海蔵小学校、教育委員会事務局、四日市市立桜中学校、三重県観光部観光総務課、御浜町立御浜小学校、多気中学校、四日市市立河原田小学校、玉城町立田丸小学校、四日市市立海蔵小学校、津市立北立誠小学校、度会小学校、常磐中学校、郡山小学校、松阪市立中原小学校、玉城中学校、四日市市立下野小学校、浜田小学校、桑名市、津市立新町小学校、松阪市立米ノ庄小学校、修徳小学校、四日市市立橋北中学校、三重小学校、四日市市立三滝中学校、セントヨゼフ女子学園高等学校 他

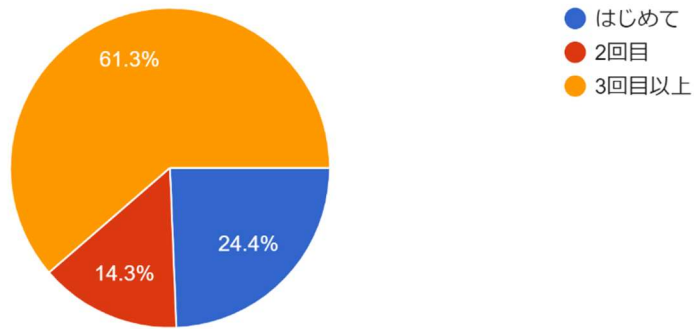
あなたの年代を教えてください。

239 件の回答

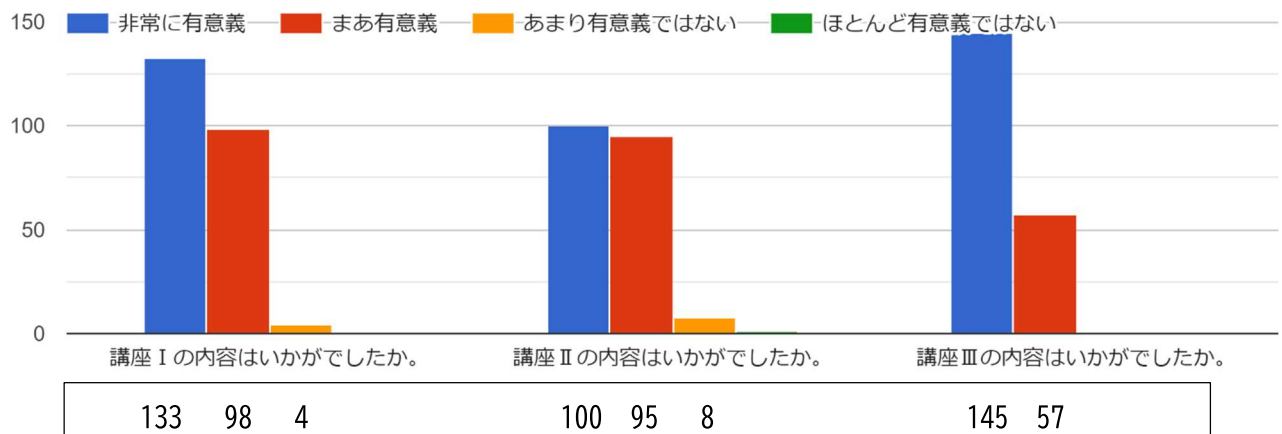


第57回三重県人権・同和教育研究会 特別分科会アンケート
 参加者603人 回答240件

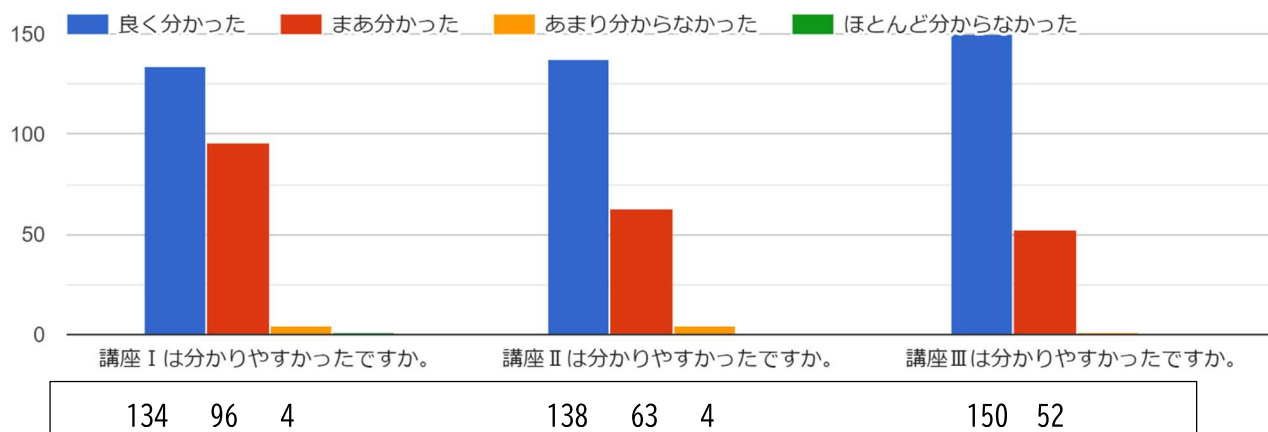
これまでの研究会および県民人権講座に参加いただいた回数を教えてください。
 238件の回答



参加された講座についてお聞かせください。

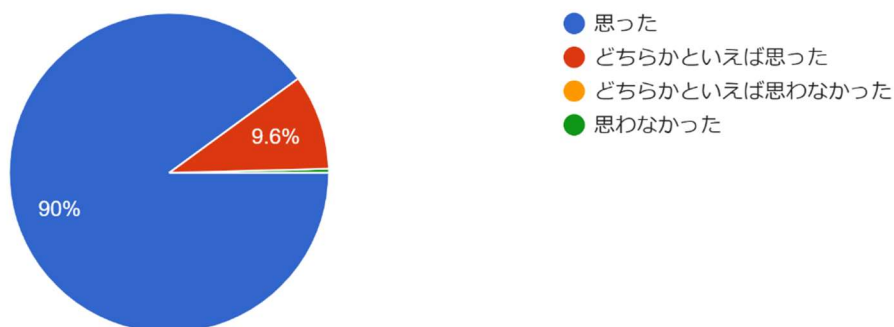


参加された講座についてお聞かせください。



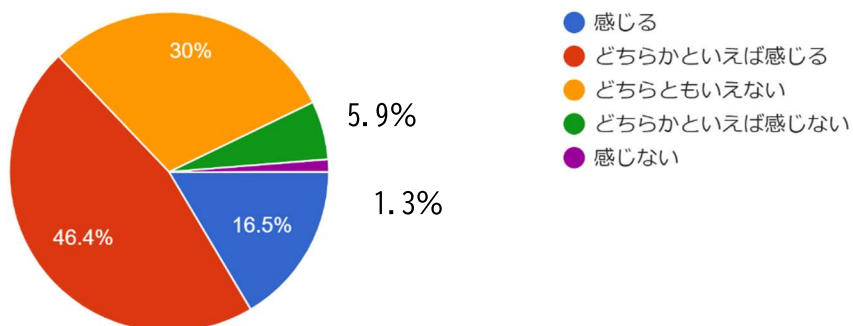
本日の講座を受講して、「人権」を大切にする行動をしようと思えましたか。

239件の回答

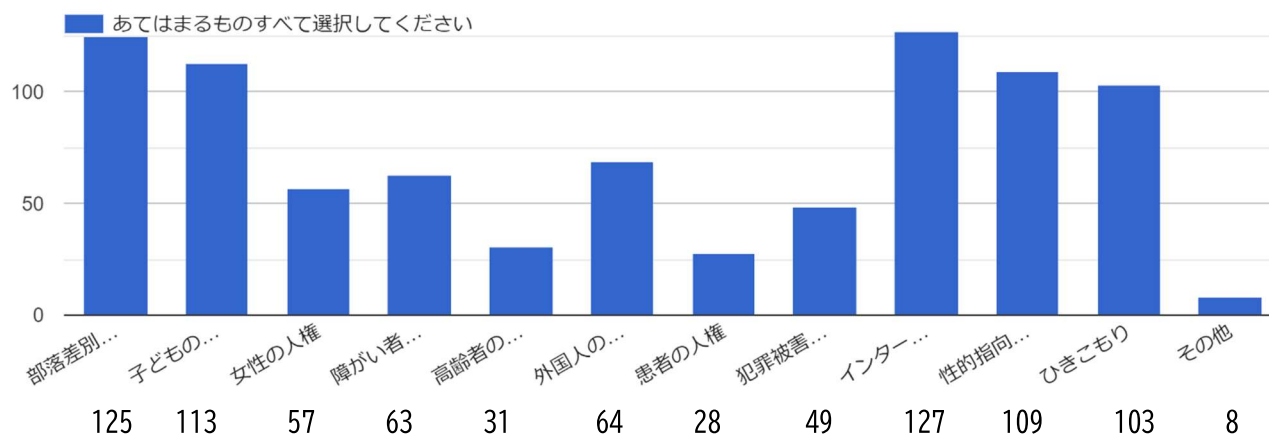


三重県では、「性別、出身地、障がいの有無など...権が尊重される社会になっていると感じますか。

237件の回答



今後、どんなテーマの話を聞きたいですか。（複数回答可）



記述

- ・社会的構造が変化されていくたびに、差別の構造も変化していくことを特に感じました。ネットはすでに、新たな差別手段から変化してきているような気がします。差別を同調する者をつなげる手段に変化していると感じました。
- ・講座3について、自分自身がハンセン病についてこだわってきたのでとても心動かされるものがありました。実際に訪れた場所がたくさん映し出されました。多くの獄死を初めて知りました。かくりの重たさを改めて感じました。職場で還流したいと思います。本当にありがとうございました。
- ・なかなか対峙していくのが難しいと感じましたが、地道な取り組みで YouTube 運営側がヘイトスピーチに関するポリシー違反として部落探訪の動画 190 本が削除されたことは進歩だと思うし、マジョリティ側の役割を強調されたことは十分なことができない自分にも共感できました。本当にありがとうございました。
- ・講座3では、何年にもわたる取材をもとにした映像を見せていただき人権について考えることができる時間になりました。子どもたちとの関わりの場面では、特に感動したと同時に、自分も子どもたちに伝えていかなければいけない立場だなとあらためて強く感じさせてもらうことができました。
- ・討論の中で、子どもに「頑張ってるね」という言葉は使いたくないから、昨日と何が違ったのかを、子どもに問いかけているという話を聞き、とても納得した。できたと自分で気づけていく瞬間を大切にしたいという話も聞き、私も実践していいと感じた。
- ・講座3の映画が特に心に残り、ハンセン病に対する偏見や差別の凄惨さを知りました。知らなかったことが沢山あり、機会があれば長島に行って、自分の目で勉強したいと思いました。ハンセン病の授業を企画するのに非常に勉強になりました。
- ・講座Ⅲでは、小学校を訪れた川北さんの姿を見て、涙がこぼれました。日本は取り戻せない過ちを犯しました。川北さんたちは、子どもとの関わりですら、隔離されてきたのだと。本当に同じ過ちを繰り返してはいけない。私たちは、過去から学ばなければならないと感じました。

第57回三重県人権・同和教育研究会 特別分科会アンケート
参加者603人 回答240件

- ・思い込み、支配の関係、偏見などまだまだあります。マジョリティ側こそ声をあげて行動し、一人ひとりが人権感覚のアップデートをするべきだと思います。ハンセン病の人権侵害のことはあまり理解していなかったのが今回衝撃的でした。強く尊く生きてきた方々の姿を忘れてはいけなと感じました。
- ・お恥ずかしい話ですが、「ハンセン病」という病名しか知りませんでした。ハンセン病患者がどれほどの長い期間、差別や過酷な隔離生活を送っていたのか知り、心が痛みました。この日本で実際に非人道的なことが行われていたことを大人だけでなく、多くの子供たちにも知って欲しいと感じました。素晴らしい映画、ありがとうございました。
- ・全ての講座について、非常に分かりやすく有意義な内容でした。今回学んだ事を今後に生かせるようにしていきたいです。
- ・第三講座では、ハンセン病にかかった人達が生涯に渡り差別をされていたことが分かりました。子供を産む権利や故郷へ帰る権利さえも奪われていることを知りとても驚きました。差別の意識はなかなか消えないことが分かりました。
- ・ハンセン病差別問題に関する映画に感動しました。あれだけの証言をとるために長年療養所に通われた宮崎さんの粘り強い活動と行動力に感銘を受けました。
- ・三講座どれも聞き応え、見応えがありました。自身の人権意識を高めるよい機会になりました。職場に持ち帰りたいと思います。
- ・知ることの大切さ、自分ごととして考えていくことの必要性を改めて感じました。
- ・普段関わる機会のない専門家の方々からお話が聞けて、とても良かったです。どの講座も、自分のこととして捉える意識を持つことができた内容でした。
- ・特別講座はどれも素晴らしかったです。講師の方々にはもちろん、このような講師の方の講座を企画してくださった三人協さんにも感謝です。ありがとうございます。
- ・ハンセン病患者さんのドキュメンタリーがとても目頭が熱くなりました。2時間あっという間で引き込まれ、差別や偏見の実態、証言の生々しさなど知らなかったことを知ることができました。逆に知らなすぎて恥ずかしささえ覚えました。高校生の子が言っていた、差別の実態を受けた反省が生かされていない…の言葉が本当だなと思いました。また、出会い学習の大切さを改めて実感しています。
- ・ハンセン病患者の隔離については世に出されていなかったことを知ることができてよかった
- ・ハンセン病の真相や、同和問題についてまだまだ終わっていない実情を改めて知ることができ、有意義な分散会だった。
- ・ハンセン病ドキュメンタリー映画を観て、まだ自分が知らない差別があり、ここまで詳しく聴いたことはなかったので今回聴くことができてよかった。きっとまだまだ知らない差別があるんだろうなと思うと自分の人権感覚を磨いていきたいと思います。
- ・部落問題やジェンダー、ハンセン病患者についても一通りは見聞きしたり、学んだりしてきていたものの、今日の講座でさらに学ばせて頂きました。このような機会を頂きありがとうございました。会場準備等お疲れ様でございました。ありがとうございました。
- ・講座Ⅲは、映画だけでなく、監督のお話も興味深かったので、もう少し時間があれば、と感じました。
- ・『特別分科会講演③ハンセン病ドキュメンタリー：宮崎賢さん』について
すごく心に響くものがありました。会場で『質問・意見』として手を挙げる勇気もなく、その場をながしてしまっただけですが、誠に申し訳ありませんでした。ものすごく感銘を受けました。

第57回三重県人権・同和教育研究会 特別分科会アンケート
参加者603人 回答240件

- ・最後の映像の場面で、日野さんだったと思うのですが、『ようやく人間になった』というような場面があったと思います。理不尽極まりない、人間扱ひされてこなかったこの問題は、国が謝ったからすむ問題ではないという気持ちにすまりました。(謝ってすむ問題ではない)
- ・宮崎さんの思いが本当に伝わった映像であり、もっと世間に広めていただきたい内容だと思いました。
- ・さまざまな職業や職種などの方から人権について講演や報告などをしていただくことで今までにない視点を得る機会になります。得られた視点を基に自らの学びを深めていきたいと考えます。
- ・ハンセン病についての国民も差別に加担していたことを忘れてはならないと思います。とじこめ、人でない生活をさせることは、異質なものを排除することだと思えます。多様性という言葉だけが世間で言われる今日においても、言葉だけでなく行動が伴わなければダメだと思いました。無らい県運動は、朝鮮人を虐殺した関東大震災のころと何も変わっていないと感じ、むなしくなりました。
- ・プロミンで治ることがわかっても、隔離を続けていたことに大きな疑問を感じました。多くの人がこの現実を知り、同じ過ちを繰り返さないようにしなければならぬと思いました。
- ・ハンセン病の元患者の皆さんについて、知らないことがたくさんあったことがよくわかりました。主体的に知る努力をすることが、大切だと思い知りました。ありがとうございました。
- ・ハンセン病に係るドキュメント映画と講演は心を強く揺さぶられるものでした。まだまだ知らないことが多くあることを認識しました。
- ・ハンセン病ドキュメンタリー映画について、予想していたよりも長期に渡っての取材と深い深い内容で、見せていただいて、本当に良かったと思っています。最後の宮崎さんのお話をもっとゆっくりお聞きできると、もっと良かったなと思いました。
- ・ハンセン病のドキュメンタリー映画が大変印象に残りました。メディアにはあまり出てこなかったと聞いて、確かに自分はこのことを知らずにこれまでいたと感じました。今回、新たに知ったことが多くあり、改めて自分の知らないところでの、誰かの苦しみというものを意識するようになりました。
- ・記者やジャーナリストの方からの話はとても興味深く、自分にはない視点から話されていたので、自分の知見が広がりました。特に「NAGASHIMA」は当事者の生の声が聞けたのは中々ない機会だったと同時に、もう2度と同じ差別を起こしてはいけないというのを痛感するものとなりました。「鳥取ループ」に関しても、そういう人がいるということまでしか知らず、詳しいことを今回で聞けたのはありがたいと同時に、教育が果たすべきことを痛感させられました。